

「国際交流時代の食の安全対策—オリンピック・
パラリンピックを迎えて我々がやるべきこと」

2019年の入管法改正、2020年のオリンピック・パラリンピック開催などで海外から多くの
方々を迎えるのにあたり、食を介した感染症が増えることが想定されます。我々はどうな
ことに注意すべきか、考えてみたいと思います。

1. 開会 14:00

司会 東京女子医科大学感染症科 教授 菊池 賢

2. 開会の挨拶

主催者 東北大学大学院医学系研究科環境医学分野 教授 赤池 孝章

共催者 東京大学大学院農学生命研究科附属食の安全研究センター 教授 関崎 勉

3. 講演 14:10～17:00

座長（司会） 東京女子医科大学 感染症科 教授 菊池 賢

(1) 腸管出血性大腸菌感染症

日本微生物研究所 取締役精度管理室長 佐藤 寿夫

(2) ノロウイルス感染症

東京都健康安全研究センター微生物部部長 貞升 建志

※ 休憩・・・15:30～15:40

(3) キャンピロバクター、サルモネラ、ウェルシュ菌感染症など

東京大学大学院農学生命研究科附属食の安全研究センター所長 関崎 勉

(4) 環境、食品、動植物など多様化する耐性菌の広がりとその対策

東京女子医科大学 感染症科 教授 菊池 賢

4. 閉会 17:00

東京大学大学院農学生命研究科附属食の安全研究センター 教授 関崎 勉

入場無料 事前予約不要

日程 2019年12月22日（日）14:00～17:00（開場13:30）

会場 〒113-8657 東京都文京区弥生 1-1-1 東京大学農学部 1号館 8番教室

東京メトロ南北線 東大前下車1分

問い合わせ：日本細菌学会事務局: gakkai23@kokuhoken.or.jp

後援：日本微生物研究所

